

## 留学だより No.8

こんにちは。今回は最後の留学だよりになります。アメリカに留学中に新型コロナウイルスの感染拡大に伴い留学を中断し、緊急帰国することになりました。留学の締めくくりとして最後の留学だよりを読んでいただければ幸いです。

### <精神面>

残すところ2か月の留学生活に突然終止符を打たれ、非常に困惑していました。日本とアメリカでは感染の拡大時期が少しずれていたのですが、結果的に留学生への安全と健康面を配慮し緊急帰国という措置をとることになりました。決まった当初は自分ではどうしようもない状況に対して憤りやもどかしさを抱えていました。しかし、時間が経つにつれ、今の状況に対する気持ちの持ち方、考え方で留学の経験が無駄にはしたくないと思うようになりました。もちろん、留学を決めた時点で、留学期間は有限であることはわかっていました。しかし、与えられた時間すべてを全うできるということは一切保証されていません。時間というものは限られているだけでなく、先の見えない夢い存在です。今まで、毎日毎日悔いがないように留学期間中は生活してきましたが、予想外の出来事で終止符を打たれてしまったことは時間の大切さを学ぶ良い経験になりました。

### <文化面>

日本に帰国前のアメリカの様子について説明したいと思います。

まず、アメリカ人にはマスクをつける習慣、手洗い、うがいの習慣も基本的にはないような印象を受けました。特にマスクに関しては文化の違いが顕著に表れていました。アメリカでは基本的にマスクをする時はよほど重症か、病院を受診した後の場合が多いです。

マスクをして予防をする人が少なく、非常に驚きました。

また、アメリカでも春休み明け（三月上旬）からは学校が休校になり、先の見えない中で、過ごすのは非常に不安でいっぱいでした。アメリカに感染者が発生した時点ではあまり周りの人は意識せず、マスクをしている人はいませんでした。しかし、感染者がどんどん拡大し、ショッピングモールや飲食店が閉鎖していくのを目の当たりにして非常に緊張してきていました。スーパーマーケットと一緒にホストファミリーと行った際にはキッチンペーパー、洗剤、トイレトペーパー、アルコール消毒液などのセクションはすべて空になっており、衝撃を受けました。

### <学校生活>

春休みが始まった当初は新型コロナウイルスの感染者はアメリカでもほぼ皆無だったので、まさか春休み明けから学校が休校になるとも予想をしていませんでした。そのため、友達や先生にきちんとしたお別れを言うことなく、帰国という形になってしまい非常に残念です。しかし、学校生活は非常に充実していて、日々の何気ない日常が最高の思い出でした。今までドラマや映画の中でしか見たことなかったアメリカのティーンエイジャーとの高校生活を体験できたこと貴重な経験です。留学当初は右も左もわからない状態の私を毎日毎日支えてくれたのは友人の存在が非常に大きいです。私が日本から来た留学生であると話すと、困ったことがあったら聞いてね、宿題わからないところない？、留学するなんてほんとにすごいね！などと声をかけてくれる人がたくさんいました。言語も文化も違う留学生のわたしを温かく受け入れて、放課後一緒に話したり、一緒にご飯を食べようと声をかけてくれたりした友人たちは私の留学の大きな支えでした。

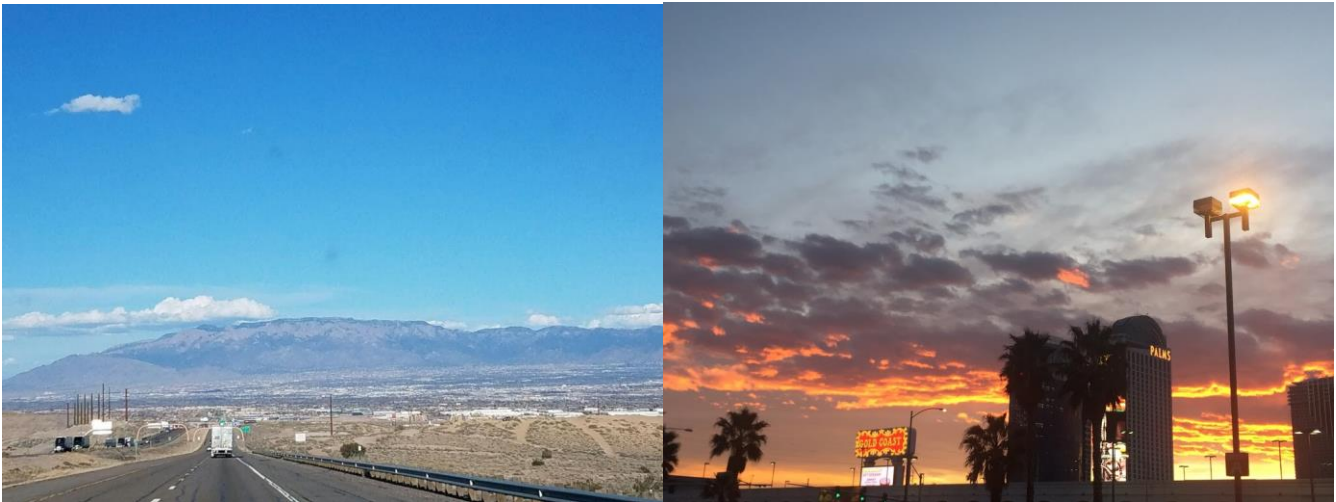
この8か月で次世代リーダー育成道場7期生としての高校留学は終わってしまいましたが、留学の経験を生か

す時間はこれから先も続きます。留学をただの経験や思い出だけで終わらせず、学んだことを還元し、次世代のリーダーとなるために日々精進していきたいと思えます。

最後に、国際部の先生をはじめ、小石川の先生、次世代リーダー育成道場の事務局の方、東京都教育委員会の方、私の留学を全力で応援してくれた小石川の友人、そして私に留学するという最高の機会を全力でサポートしてくれた家族には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

8か月間の留学はかけがえのない経験でした！  
最後までお読みいただきありがとうございました。

吉田



↑アメリカの限定メニューのピンクドリンクです。ぜひ機会があれば試してみてください！